

清酒製造技術研究会

武田 文宣* 吉浦 貴紀*

1. はじめに

清酒業界は、1970年代以降、製成数量、消費数量ともに漸減状況にあり、現在はピーク時の4割未満となっている。茨城県酒造組合に加盟する製造場の中には、右肩下がりの業界において生き残るべく、販売促進や製品の高品質化等、様々な取組を行っている企業も少なくない。

酒造組合では組合員からの要望を受け、当センター支援の下、H23年度から酒造りのない夏場を中心に、清酒製造従事者向けに勉強会を開催している。今年度からは、酒造組合と当センターの共同運営とし、「清酒製造技術研究会」として再スタートを切った。

製造現場における造り手は、古くから杜氏集団による酒造期（主に冬期）の出稼ぎ労働者に頼ってきた。しかし、近年では杜氏集団の高齢化や後継者不足により、経営者及び従業員による製造へと切り替わってきている製造場も多い。そのため製造従事者の確保・育成は、県内の製造場においても、急務の課題である。

また、毎年開催されている全国新酒鑑評会等における県内製造場の成績については、全国の銘醸地といわれる地域と比して、決して優れているものではない。

このような状況下、当研究会をはじめ各種活動を通して、「茨城の地酒」の生き残りを目指すものである。

2. 目的

共同主催者である参加者自らが企画運営に参画し、清酒製造技術に関する勉強会を定期的実施する。

この研究会活動を通して、技術情報の収集・共有化を図るとともに、製造現場での悩み相談の機会とし、参加者間の情報交換ネットワークの構築を促す。

更に、長期的展望として、各製造場における清酒の品質向上や製造技術者の育成を目指し、茨城県産酒の底上げを図ることを目的とする。

3. 研究会内容

本研究会には、清酒製造場18社が入会し、参加者間の協議を経て実施内容を決定し、以下のとおり計4回の勉強会を開催した。

◎第1回（6月18日）

- ・講演 製造場における洗浄、殺菌等について
（講師 ケイセイ化学工業株式会社、株式会社名醸社）
- ・情報交換 H24 酒造年度産麴の酵素力価や甘酒評価検討等

◎第2回（7月9日）

- ・蔵見学 近県製造企業の視察
（見学先 滝澤酒造株式会社、島岡酒造株式会社）

◎第3回（8月29日）

- ・講演 福島県の吟醸造りについて
（講師 福島県ハイテクプラザ）
- ・情報提供 南部杜氏協会夏季講習会等の報告

◎第4回（9月6日）

- ・講演 私の吟醸造りについて
（講師 渡邊酒造株式会社）
- ・情報提供 清酒製造技術セミナー等の報告

3.1 講演

外部講師に、以下のとおり計3題について講演いただいた。

「製造場における洗浄、殺菌等について」

洗浄効果の原理から、酒類製造・出荷工程に於いて見受けられる汚れの蓄積ポイントの指摘、適切な洗浄剤の提案などをいただいた。



図1 講演の様子

「福島県の吟醸造りについて」（図1）

福島県内における人材育成や製造技術、酒質向上のための取り組み等を紹介いただき、更に「福島流吟醸酒製造マニュアル」について製造ポイント等を解説い

ただいた。

「私の酒造りについて」

渡邊酒造における製造技術並びに酒質の向上を目的とした各種鑑評会等に対する考え方や活用の仕方を紹介いただいた。更に平成24酒造年度の大吟醸酒の造りについて、具体的にデータを示しながら解説いただいた。

3.2 蔵見学

蔵見学は、滝澤酒造株式会社（埼玉県）及び島岡酒造株式会社（群馬県）を視察した（図2,3）。

いずれの製造場においても、杜氏役の若い経営者から、蔵の概況及び製造から出荷までの流れ、設備等について、丁寧に説明いただいた。



図2 蔵見学の様子(滝澤酒造)



図3 蔵見学の様子(島岡酒造)

3.3 情報提供等

情報交換、情報提供は、①H24 酒造年度産麴の酵素力価等のデータを基に、製麴を中心として製造結果の振り返り、意見交換等を行った。また、②南部杜氏協会主催の夏季講習会、③日本醸造協会主催の清酒製造技術セミナー、及び④新潟酒造技術研究会主催の新潟研究発表会等の受講者より、今後の製造過程において役に立ちそうな情報を中心に、各種情報の提供がなされた。

4. まとめ

今年度は、4回の勉強会を開催し、3名の外部講師による講演、近県の製造場2場の見学、並びに各種講習会等の参加者からの情報提供等を行った。その結果、製造場18場より、延べ90名の参加をいただくことが出来た。

H26年度以降も引き続き、茨城県産酒の底上げを旗印に研究会活動を継続し、各社の酒質向上・人材育成に繋がるべく、県内清酒業界の活性化に取り組んでいきたい。

5. 謝辞

本研究会に講師派遣を通しご協力いただいたケイセイ化学工業株式会社、株式会社名醸社、福島県ハイテクプラザ及び渡邊酒造株式会社に感謝の意を表す。

また、快く蔵見学に対応いただいた滝澤酒造株式会社及び島岡酒造株式会社には、深謝申し上げます。